

鶴居村人口減少対策に関する  
アンケート調査  
報告書

平成27年8月

鶴 居 村

# 人口減少対策に関するニーズ調査報告書 目次

第1章 調査の概要	3
第2章 集計結果	7
1. 回答者の属性について	9
(1) 回答者の性別	9
(2) 回答者の年齢	9
(3) 回答者の居住地域	10
(4) 回答者の居住年数	10
(5) 回答者の出生地	11
(6) 回答者の世帯構成	11
2. 結婚について（50歳未満の方のみ）	12
(1) 現在の婚姻状況	12
(2) 独身の理由	13
(3) 今後の結婚意向	15
(4) 結婚を希望する年齢	16
(5) 結婚時の障害有無	16
(6) 結婚時の障害内容	17
(7) 行政が重点的に取り組むべき結婚支援事業	17
3. 出産・育児について（50歳未満の方のみ）	19
(1) 子どもの人数	19
(2) 理想的な子どもの数を妨げている要因	20
(3) 鶴居村の子育てのしやすさ	22
(4) 村が力を入れるべき育児サービス	23
4. 住みやすさについて	27
(1) 村外への転居意向	27
(2) 転居希望場所	28
(3) 転居理由	29
(4) 居住地選定で重視する点	30
(5) 住みやすいと感じる点	32
(6) 移住定住促進で力を入れるべき行政サービス	35
5. 働くことについて	37
(1) 現在の就業形態	37
(2) 現在の仕事の業種	39
(3) 今後の転職意向	40
(4) 転職時の希望職業分野	40
(5) 転職時に重視する点	41
(6) 就職時の希望職業分野	42

(7) よりよい労働市場形成のために必要な行政サービス .....	43
6. 人口減少について .....	45
(1) 人口減少に関する不安度 .....	45
(2) 人口減少で感じる不安の内容 .....	46
(3) 人口減少対策で力を入れるべき取組み .....	49

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の概要

本調査は、平成 27 年度に「鶴居村人口ビジョン」と「鶴居村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するために必要な基礎資料の収集を目的に実施したものです。

調査対象	平成 27 年 4 月 1 日現在、村内に在住する 16 歳以上 75 歳未満の方、 合計 1,756 人
抽出方法	住民基本台帳から対象年齢の方を全員抽出
調査期間	平成 27 年 6 月 3 日～6 月 23 日
調査方法	自由記入方式 郵送による調査票の配布・回収

## 2. 調査票の回収結果

配布数	回収数	回収率
1,756	670	38.2%

## 3. 集計結果の表し方

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文および図の数字に関しては、すべて小数点第 2 位を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記しています。複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100%を超えることがあります。
- クロス集計（男女別の集計など）の図については、分析軸の項目の後に（n=XX）として、各項目の回答者数を表記しています。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。

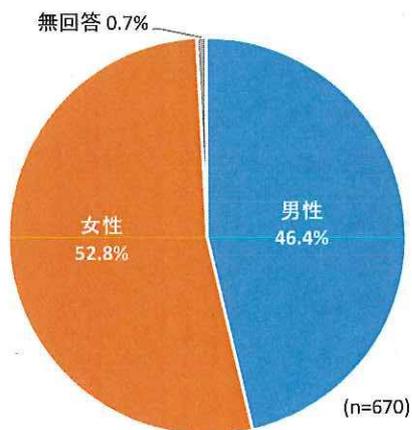
## 第 2 章 集計結果

# 1. 回答者の属性について

## (1) 回答者の性別

ご本人の性別は、男性が46.4%、女性が52.8%となっています。

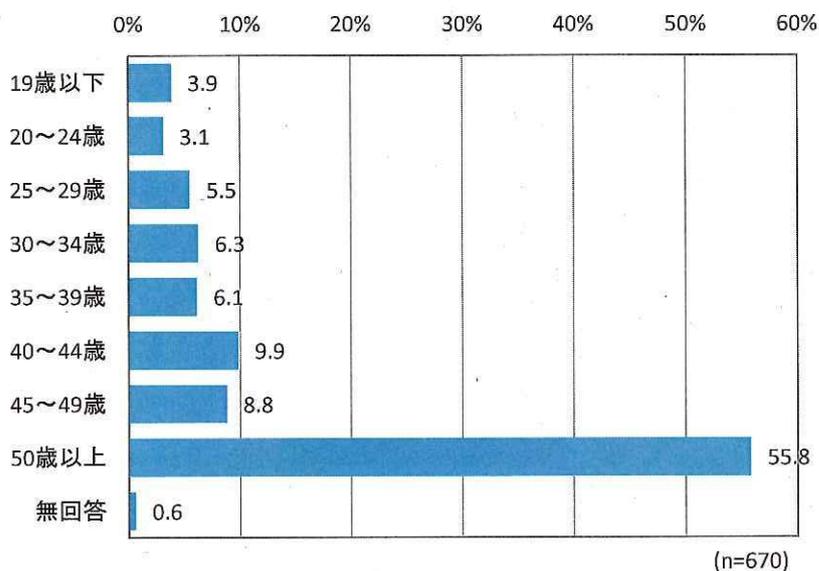
### ① 性別 (1つに〇)



## (2) 回答者の年齢

ご本人の年齢は、「50歳以上」が55.8%最も多く、次いで「40～44歳」(9.9%)、「45～49歳」(8.8%)、「30～34歳」(6.3%)と続いています。

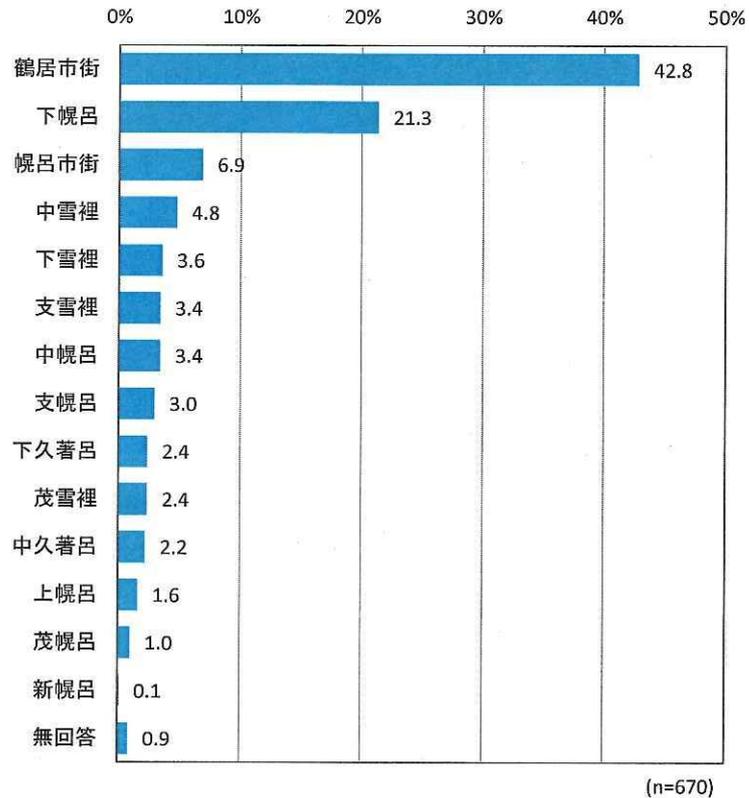
### ② 年齢 (1つに〇)



### (3) 回答者の居住地域

居住地域は、「鶴居市街」が42.8%で最も多く、次いで「下幌呂」(21.3%)、「幌呂市街」(6.9%)と続いています。

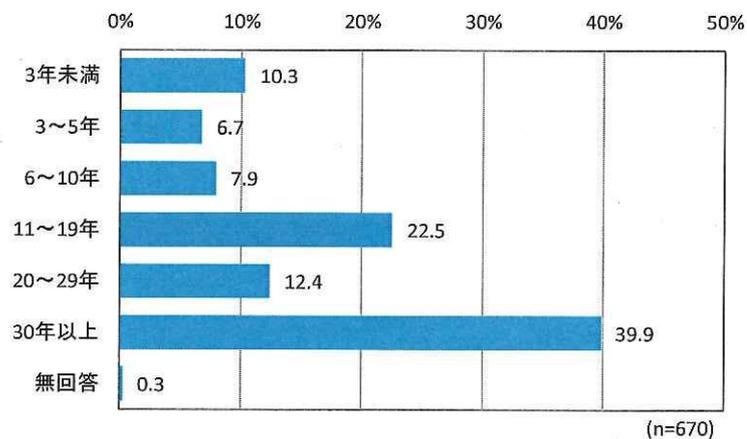
#### ③ 居住地域 (1つに〇)



### (4) 回答者の居住年数

ご本人の居住年数は、「30年以上」が39.9%で最も多く、次いで「11~19年」(22.5%)、「20~29年」(12.4%)と続いています。

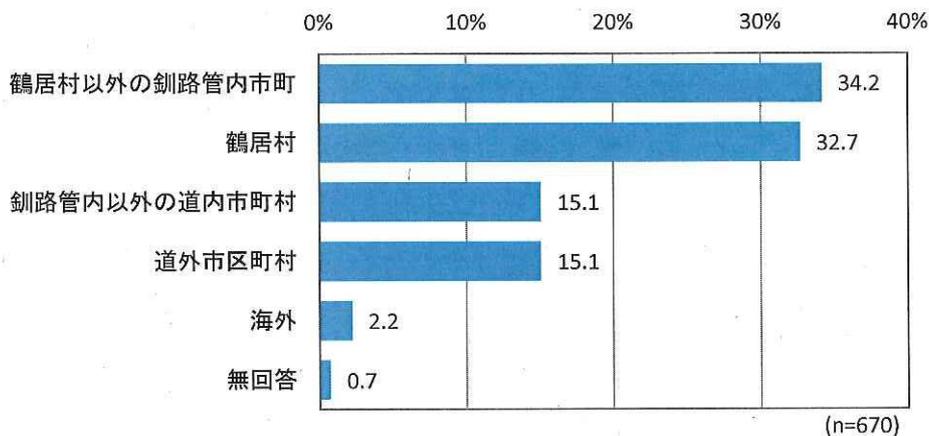
#### ④ 鶴居村の通算居住年数 (1つに〇)



## (5) 回答者の出生地

ご本人の出生地は、「鶴居村以外の釧路管内市町」が34.2%で最も多く、次いで「鶴居村」(32.7%)、「釧路管内以外の道内市町村」(15.1%)、「道外市区町村」(15.1%)と続いています。

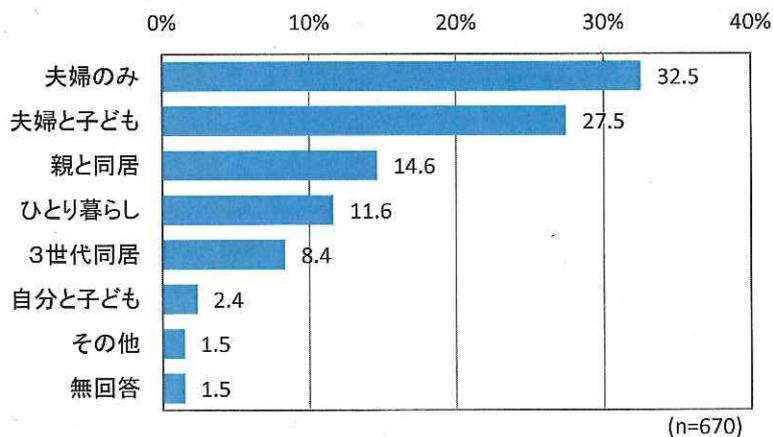
### ⑤ 出生地 (1つに○)



## (6) 回答者の世帯構成

ご本人の世帯構成は、「夫婦のみ」が32.5%で最も多く、次いで「夫婦と子ども」(27.5%)、「親と同居」(14.6%)と続いています。

### ⑥ 世帯構成 (1つに○)

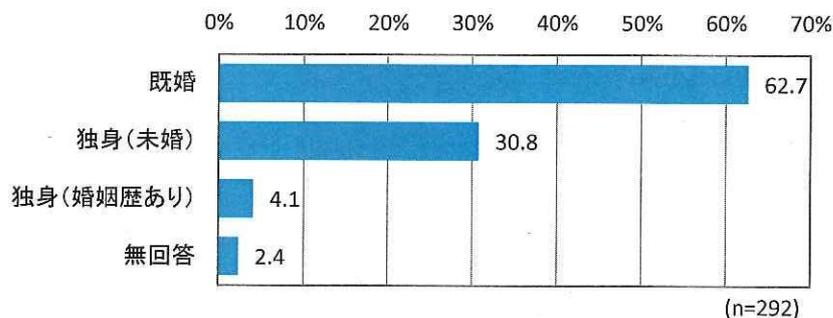


## 2. 結婚について（50歳未満の方のみ）

### （1）現在の婚姻状況

現在の婚姻状況は、「既婚」が62.7%で最も多く、次いで「独身（未婚）」（30.8%）、「独身（婚姻歴あり）」（4.1%）の順となっています。

問1 あなたは、現在、結婚していますか。（1つに○）



#### 《男女別、年齢階級別の集計》

○男女別でみると、男性は独身の割合がやや多く、女性は少なくなっています。

○年齢階級別でみると、30歳未満は半数以上が独身ですが、30歳以上では既婚者が70%を超えています。

		n	独身 (未婚)	独身 (婚姻歴あり)	既婚	無回答
全体		292	30.8	4.1	62.7	2.4
性別	男性	126	36.5	3.2	58.7	1.6
	女性	165	26.1	4.8	66.1	3.0
年齢	19歳以下	26	92.3	0.0	3.8	3.8
	20～24歳	21	90.5	0.0	9.5	0.0
	25～29歳	37	59.5	2.7	35.1	2.7
	30～34歳	42	14.3	4.8	78.6	2.4
	35～39歳	41	7.3	7.3	85.4	0.0
	40～44歳	66	19.7	1.5	75.8	3.0
	45～49歳	59	5.1	8.5	83.1	3.4

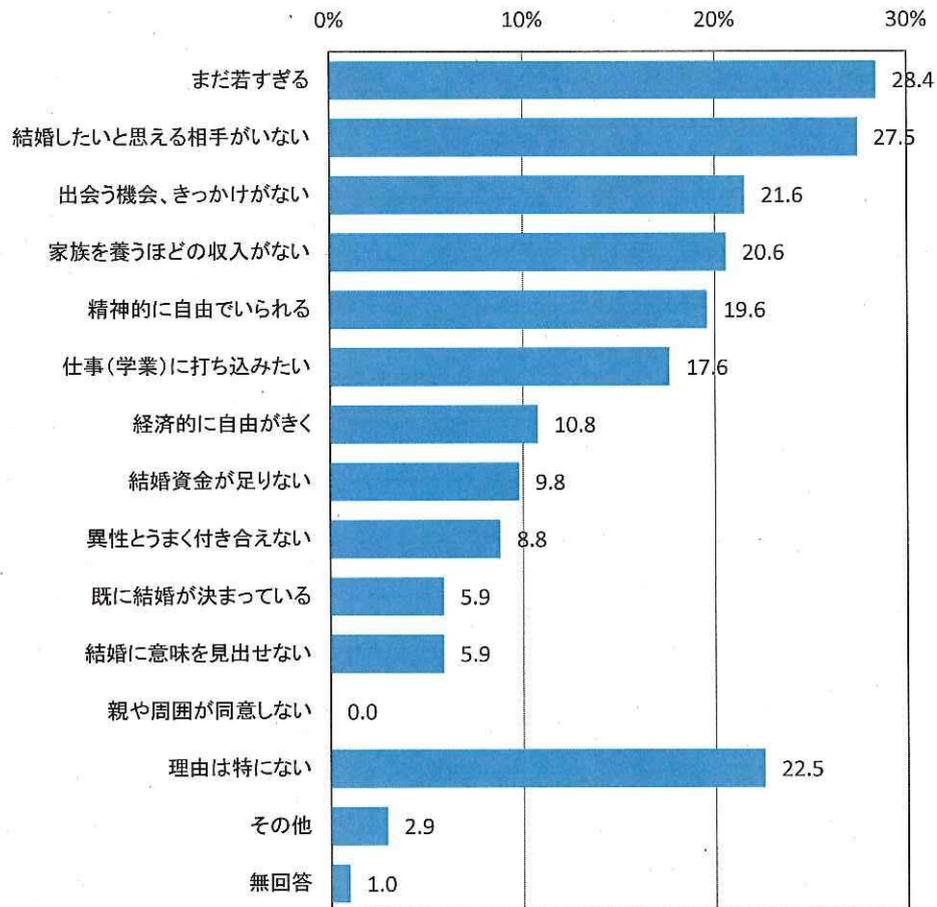
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

## (2) 独身の理由

結婚していない理由は、「まだ若すぎる」が28.4%で最も多く、次いで「結婚したいと思える相手がない」(27.5%)、「出会う機会、きっかけがない」(21.6%)と続いています。

〈問1で「独身(未婚)」「独身(婚姻歴あり)」を選択した方のみ〉

問2 現在、結婚していない理由は何ですか。(複数回答)



(n=102)

《男女別、年齢階級別の集計》

○男女別でみると、男性は「家族を養うほどの収入がない」が最も多く、次いで「結婚したいと思える相手がない」となっています。女性は「理由は特にない」が最も多い状況です。

○年齢階級別でみると、24歳以下は「まだ若すぎる」、25～29歳は「結婚したいと思える相手がない」、30～34歳は「精神的に自由でいられる」および「出会う機会、きっかけがない」がそれぞれ上位回答となっています。

		n	既に結婚が 決まっている	家族を養うほどの 収入がない	結婚したいと思え る相手がない	経済的に 自由がきく	精神的に自由で いられる
全体		102	5.9	20.6	27.5	10.8	19.6
性別	男性	50	6.0	34.0	32.0	12.0	18.0
	女性	51	5.9	5.9	21.6	9.8	21.6
年齢	19歳以下	24	0.0	8.3	12.5	0.0	0.0
	20～24歳	19	5.3	21.1	21.1	15.8	26.3
	25～29歳	23	13.0	21.7	34.8	8.7	17.4
	30～34歳	8	12.5	25.0	25.0	12.5	50.0
	35～39歳	6	0.0	16.7	16.7	50.0	50.0
	40～44歳	14	0.0	42.9	42.9	7.1	14.3
	45～49歳	8	12.5	12.5	50.0	12.5	25.0

		n	仕事(学業)に 打ち込みたい	異性と うまく付き合えない	まだ若すぎる	結婚資金が 足りない	結婚に意味を 見出せない
全体		102	17.6	8.8	28.4	9.8	5.9
性別	男性	50	14.0	12.0	28.0	10.0	6.0
	女性	51	21.6	5.9	29.4	9.8	5.9
年齢	19歳以下	24	37.5	4.2	83.3	0.0	0.0
	20～24歳	19	15.8	21.1	31.6	21.1	5.3
	25～29歳	23	4.3	8.7	13.0	4.3	8.7
	30～34歳	8	12.5	12.5	0.0	12.5	12.5
	35～39歳	6	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0
	40～44歳	14	0.0	7.1	0.0	14.3	14.3
	45～49歳	8	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0

		n	出会う機会 きっかけがない	親や周囲が 同意しない	理由は特にない	その他	無回答
全体		102	21.6	0.0	22.5	2.9	1.0
性別	男性	50	26.0	0.0	14.0	2.0	2.0
	女性	51	15.7	0.0	31.4	3.9	0.0
年齢	19歳以下	24	8.3	0.0	4.2	4.2	0.0
	20～24歳	19	26.3	0.0	21.1	0.0	5.3
	25～29歳	23	21.7	0.0	30.4	4.3	0.0
	30～34歳	8	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0
	35～39歳	6	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0
	40～44歳	14	28.6	0.0	57.1	0.0	0.0
	45～49歳	8	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0

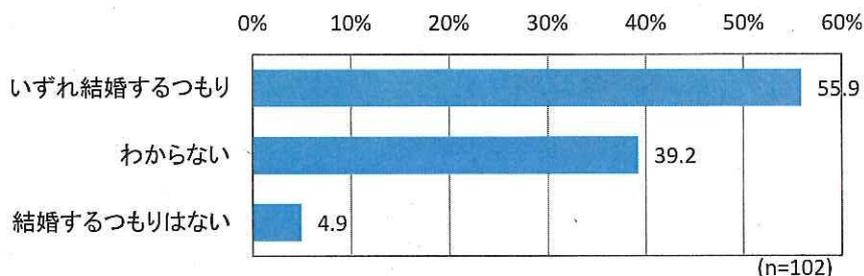
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

### (3) 今後の結婚意向

今後の結婚意向については、「いずれ結婚するつもり」が55.9%、「わからない」(39.2%)、「結婚するつもりはない」(4.9%)となっています。

〈問1で「独身(未婚)」「独身(婚姻歴あり)」を選択した方のみ〉

問3 今後の結婚に関するあなたの希望は次のうち、どれにはてはまりますか。(1つに○)



#### 《男女別、年齢階級別の集計》

○男女別でも「いずれ結婚するつもり」が最も多くなっていますが、女性は「結婚するつもりはない」と回答している人が9.8%と全体よりも多くなっています。

○29歳以下は「いずれ結婚するつもり」の割合が最も多くなっていますが、年齢が上がるにつれ「わからない」の割合が多くなる傾向にあります。

		n	いずれ結婚するつもり (%)	結婚するつもりはない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
全体		102	55.9	4.9	39.2	0.0
性別	男性	50	58.0	0.0	42.0	0.0
	女性	51	52.9	9.8	37.3	0.0
年齢	19歳以下	24	75.0	0.0	25.0	0.0
	20~24歳	19	68.4	0.0	31.6	0.0
	25~29歳	23	60.9	4.3	34.8	0.0
	30~34歳	8	37.5	12.5	50.0	0.0
	35~39歳	6	66.7	0.0	33.3	0.0
	40~44歳	14	28.6	14.3	57.1	0.0
	45~49歳	8	12.5	12.5	75.0	0.0

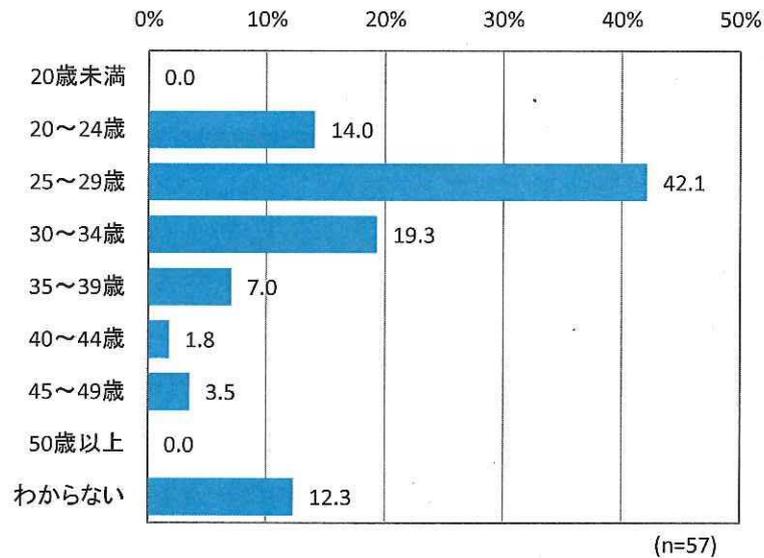
※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

#### (4) 結婚を希望する年齢

結婚を希望する年齢は、「25～29歳」が42.1%で最も多く、次いで「30～34歳」(19.3%)、「20～24歳」(14.0%)と続いています。

〈問3で「いずれ結婚するつもり」を選択した方のみ〉

問4 いつ頃に結婚したいと考えていますか。(1つに〇)

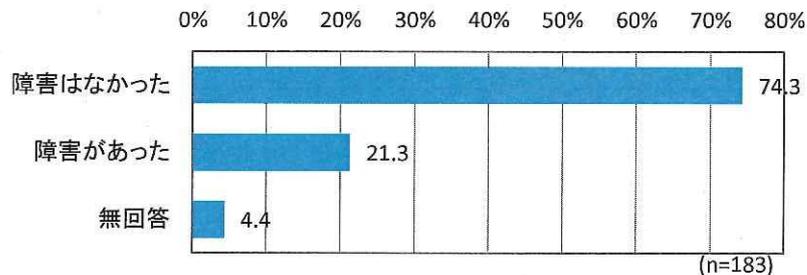


#### (5) 結婚時の障害有無

結婚にあたっての障害は、「障害はなかった」が74.3%、「障害があった」は21.3%となっています。

〈問1で「既婚」を選択した方のみ〉

問5 結婚にあたって、障害になったことはありましたか。(1つに〇)

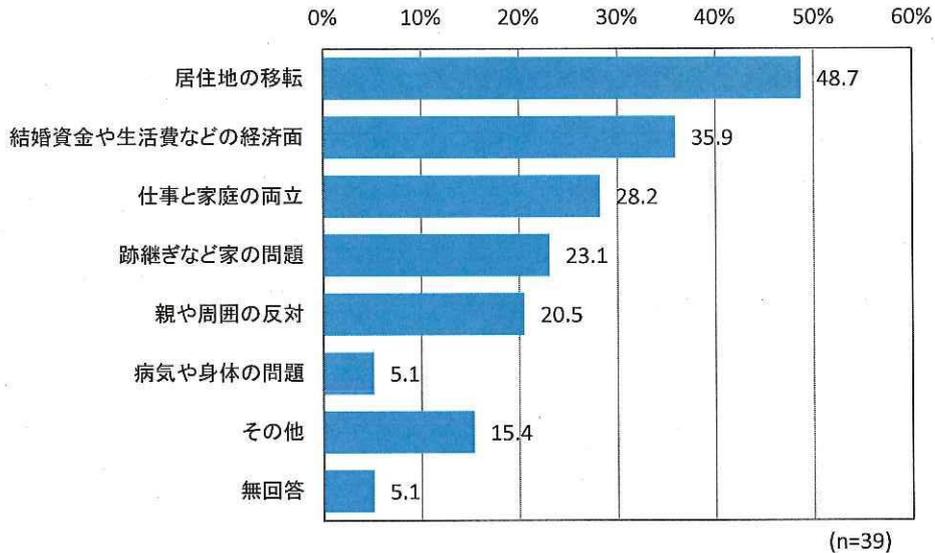


## (6) 結婚時の障害内容

結婚時の障害内容は、「居住地の移転」が48.7%で最も多く、次いで「結婚資金や生活費などの経済面」(35.9%)、「仕事と家庭の両立」(28.2%)と続いています。

〈問5で「障害があった」を選択した方のみ〉

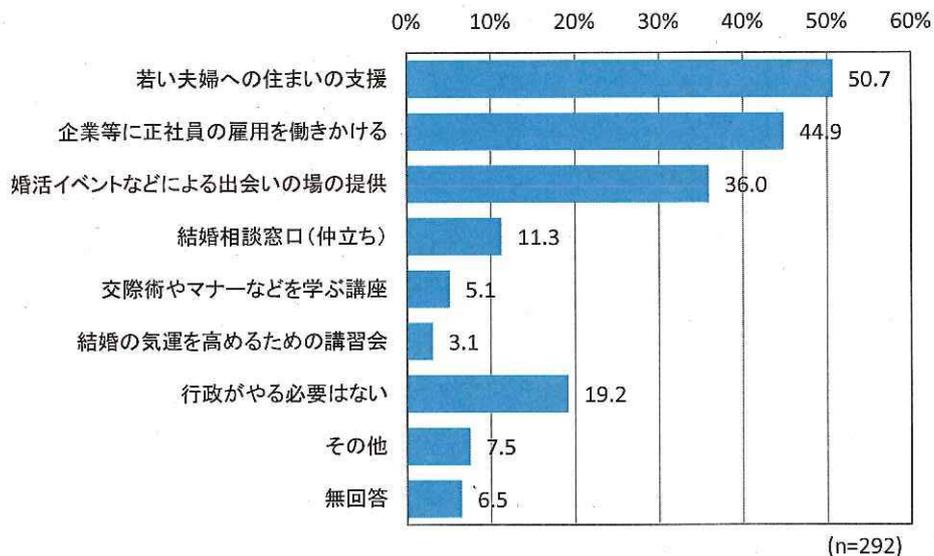
問6 結婚にあたっての障害は何でしたか。(複数回答)



## (7) 行政が重点的に取り組むべき結婚支援事業

重点的に取り組むべき結婚支援事業は、「若い夫婦への住まいの支援」が50.7%で最も多く、村内の住まいへの支援が求められていると考えられます。次いで「企業等に正社員の雇用を働きかける」(44.9%)、「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」(36.0%)と続いています。一方、「行政がやる必要はない」の回答も19.2%みられます。

問7 鶴居村が重点的に取り組むべき結婚支援事業は何だと思いますか。(複数回答)



《男女別、年齢階級別、婚姻状況別の集計》

○男女別でみると、男女ともに「若い夫婦への住まいの支援」が上位回答となっていますが、女性は「企業等に正社員の雇用を働きかける」の割合が多くなっています。

○年齢階級別でも「企業等に正社員の雇用を働きかける」「若い夫婦への住まいの支援」が上位回答となっていますが、30～34歳は「若い夫婦への住まいの支援」の割合が他年齢階級よりも多く、また、「婚活イベントなどによる出会いの場の提供」の割合も多くなっています。

○婚姻状況別でみると、婚姻歴にかかわらず独身者は「企業等に正社員の雇用を働きかける」、既婚者は「若い夫婦への住まいの支援」の割合が多くなっています。

(%)

		n	企業等に正社員の雇用を働きかける	若い夫婦への住まいの支援	結婚相談窓口(仲立ち)	婚活イベントなどによる出会いの場の提供
全体		292	44.9	50.7	11.3	36.0
性別	男性	126	38.1	52.4	11.9	35.7
	女性	165	50.3	49.7	10.3	35.8
年齢	19歳以下	26	38.5	34.6	15.4	26.9
	20～24歳	21	38.1	38.1	4.8	33.3
	25～29歳	37	54.1	56.8	5.4	35.1
	30～34歳	42	57.1	71.4	9.5	47.6
	35～39歳	41	43.9	58.5	14.6	34.1
	40～44歳	66	43.9	47.0	12.1	36.4
	45歳以上	59	37.3	42.4	13.6	33.9
婚姻状況	独身(未婚)	90	43.3	36.7	11.1	28.9
	独身(婚姻歴あり)	12	25.0	16.7	0.0	25.0
	既婚	183	47.5	61.2	12.6	39.9

		n	交際術やマナーなどを学ぶ講座	結婚の気運を高めるための講習会	行政がやる必要はない	その他	無回答
全体		292	5.1	3.1	19.2	7.5	6.5
性別	男性	126	4.8	4.8	23.0	10.3	5.6
	女性	165	5.5	1.8	16.4	5.5	7.3
年齢	19歳以下	26	3.8	0.0	23.1	0.0	3.8
	20～24歳	21	0.0	0.0	19.0	14.3	4.8
	25～29歳	37	10.8	2.7	16.2	8.1	10.8
	30～34歳	42	9.5	2.4	9.5	9.5	2.4
	35～39歳	41	2.4	2.4	17.1	9.8	2.4
	40～44歳	66	1.5	3.0	21.2	6.1	10.6
	45歳以上	59	6.8	6.8	25.4	6.8	6.8
婚姻状況	独身(未婚)	90	5.6	3.3	23.3	6.7	7.8
	独身(婚姻歴あり)	12	8.3	8.3	16.7	0.0	33.3
	既婚	183	4.9	2.7	18.0	8.7	3.3

※網掛け部は、無回答を除く、各分類の中で回答者が一番多い項目

### 3. 出産・育児について（50歳未満の方のみ）

#### （1）子どもの人数

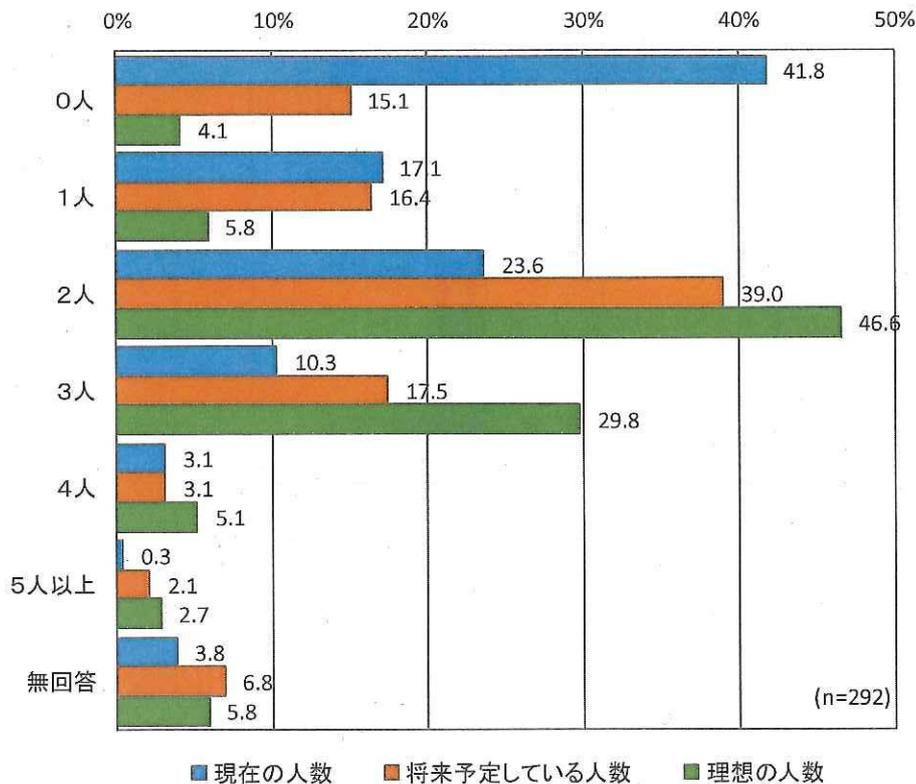
子どもの人数について、現在の人数、将来予定している人数、理想の人数について尋ねたところ、現在の人数は「0人」と回答した人が41.8%で最も多く、将来予定している人数、理想の人数は、ともに「2人」が最も多くなっています。

また、子どもの平均人数をみると、将来予定している人数の1.82人と比べて、理想の人数は2.36人と約0.5人多くなっています。

問8 あなたは、現在、お子さんは何人いますか。（1つに〇）

問9 将来的に何人のお子さんを持つご予定ですか（現在いるお子さんの人数も含む）。（1つに〇）

問10 あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか（現在いるお子さんの人数も含む）。（1つに〇）



#### ■子どもの平均人数（「5人以上」を5人として計算）

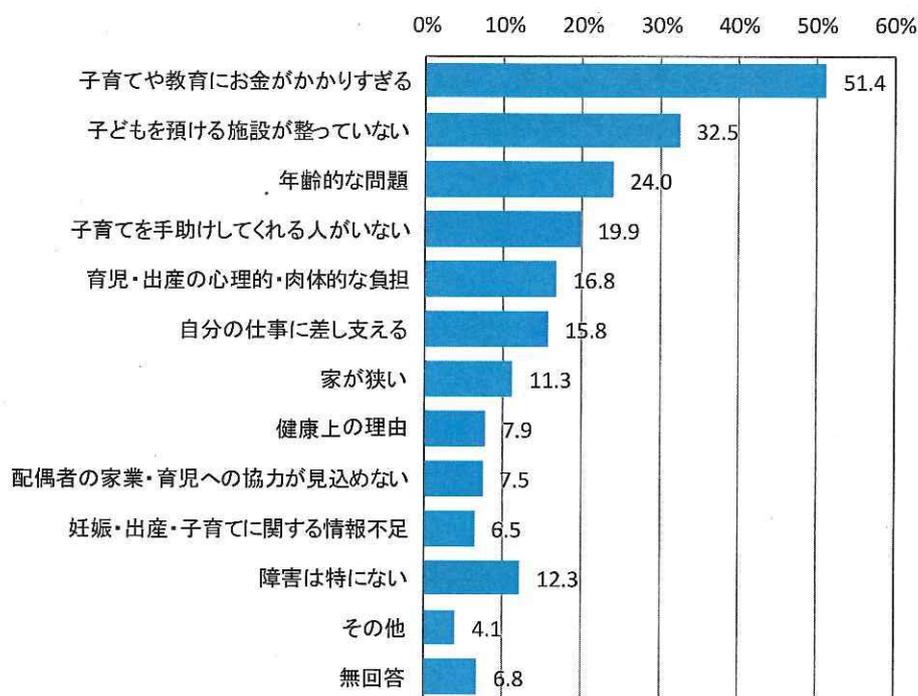
	現在	予定	理想
子どもの平均人数	1.14人	1.82人	2.36人

## (2) 理想的な子どもの数を妨げている要因

理想的な子どもの数を妨げている要因は、「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が51.4%を占め、他を引き離して多くなっています。次いで「子どもを預ける施設が整っていない」(32.5%)、「年齢的な問題」(24.0%)と続いています。

理想の子どもの人数に向けて出生数を増やすためには、子育てや教育をするための経済的な支援や、預け先などの保育環境の拡充、晩婚化への対応策を検討していく必要があると考えられます。

問 11 理想的な子どもの数を実現するために、障害となること(なりそうなこと)は何ですか。  
(複数回答)



(n=292)

《男女別、年齢階級別の集計》

○男女別でも「子育てや教育にお金がかかりすぎる」「子どもを預ける施設が整っていない」が上位回答となっていますが、女性は「自分の仕事に差し支える」「育児・出産の心理的・肉体的な負担」の割合が男性と比べて多くなっています。

○年齢階級別でも、すべての年齢階級で「子育てや教育にお金がかかりすぎる」が上位回答になっていますが、25歳～39歳の子育て世代は「子どもを預ける施設が整っていない」の割合が40%を超えています。

(%)

		n	子育てや教育にお金がかかりすぎる	家が狭い	自分の仕事に差し支える	子育てを手助けしてくれる人がいない	子どもを預ける施設が整っていない	妊娠・出産・子育てに関する情報不足
全体		292	51.4	11.3	15.8	19.9	32.5	6.5
性別	男性	126	52.4	8.7	9.5	16.7	27.0	8.7
	女性	165	50.3	13.3	20.6	21.8	37.0	4.8
年齢	19歳以下	26	53.8	3.8	26.9	7.7	15.4	3.8
	20～24歳	21	52.4	14.3	0.0	9.5	14.3	9.5
	25～29歳	37	64.9	18.9	13.5	24.3	45.9	16.2
	30～34歳	42	54.8	21.4	26.2	33.3	45.2	7.1
	35～39歳	41	56.1	19.5	9.8	19.5	43.9	7.3
	40～44歳	66	40.9	6.1	15.2	16.7	30.3	4.5
	45～49歳	59	47.5	1.7	15.3	20.3	23.7	1.7

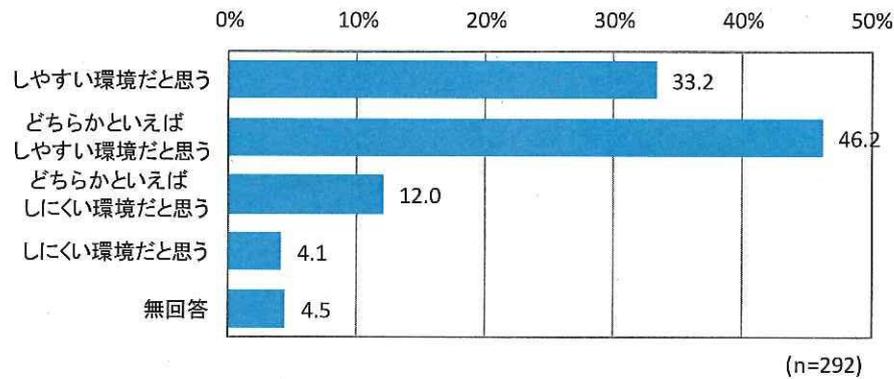
		n	年齢的な問題	育児・出産の心理的・肉体的な負担	健康上の理由	配偶者の家業・育児への協力が見込めない	障害は特にない	その他	無回答
全体		292	24.0	16.8	7.9	7.5	12.3	4.1	6.8
性別	男性	126	18.3	8.7	1.6	4.8	17.5	4.0	7.1
	女性	165	28.5	23.0	12.1	9.7	8.5	4.2	6.7
年齢	19歳以下	26	3.8	3.8	3.8	0.0	19.2	0.0	11.5
	20～24歳	21	0.0	23.8	9.5	0.0	14.3	4.8	9.5
	25～29歳	37	13.5	16.2	2.7	10.8	8.1	2.7	5.4
	30～34歳	42	21.4	31.0	9.5	14.3	9.5	4.8	2.4
	35～39歳	41	14.6	19.5	9.8	0.0	7.3	9.8	7.3
	40～44歳	66	42.4	12.1	10.6	9.1	12.1	1.5	9.1
	45～49歳	59	35.6	13.6	6.8	10.2	16.9	5.1	5.1

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

### (3) 鶴居村の子育てのしやすさ

鶴居村の子育てのしやすさは、「しやすい環境だと思う」(33.2%)、「どちらかといえばしやすい環境だと思う」(46.2%)の合計で、約8割が子育てしやすい環境だと感じています。

問 12 鶴居村は子育てしやすい環境だと思いますか。(1つに○)



#### 《男女別、年齢階級別の集計》

○男女別でも、「しやすい環境だと思う」「どちらかといえばしやすい環境だと思う」の合計はそれぞれ約8割となっています。

○年齢階級別で見ると、30～34歳は「しやすい環境だと思う」「どちらかといえばしやすい環境だと思う」の合計が69.0%で他年齢階級よりも少なく、「どちらかといえばしにくい環境だと思う」「しにくい環境だと思う」の割合が28.6%と多くなっています。

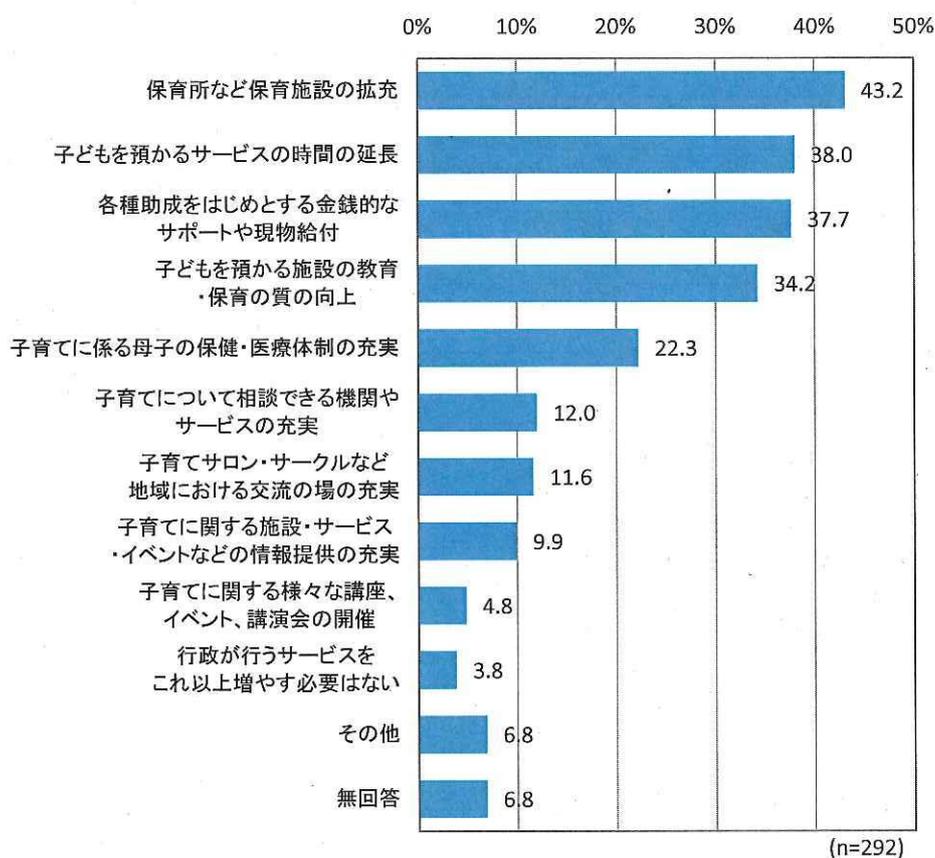
		n	しやすい環境だ と思う	どちらかといえ ば しやすい環境だ と思う	どちらかといえ ば しにくい環境だ と思う	しにくい環境だ と思う	無回答
全体		292	33.2	46.2	12.0	4.1	4.5
性別	男性	126	38.9	42.9	9.5	4.0	4.8
	女性	165	29.1	48.5	13.9	4.2	4.2
年齢	19歳以下	26	46.2	26.9	11.5	3.8	11.5
	20～24歳	21	33.3	38.1	19.0	4.8	4.8
	25～29歳	37	18.9	59.5	16.2	0.0	5.4
	30～34歳	42	28.6	40.5	19.0	9.5	2.4
	35～39歳	41	24.4	56.1	9.8	4.9	4.9
	40～44歳	66	31.8	54.5	7.6	3.0	3.0
45～49歳	59	47.5	37.3	8.5	3.4	3.4	

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

#### (4) 村が力を入れるべき育児サービス

村が力を入れるべき育児サービスについては、「保育所など保育施設の拡充」が43.2%で最も多く、次いで「子どもを預かるサービスの時間の延長」(38.0%)、「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」(37.7%)と続いています。

問13 今後、育児に関する施策として、鶴居村が力を入れるべきだと思うのは次のうちどれですか。  
(複数回答)



《男女別の集計》

○男女別にみても、「保育所など保育施設の拡充」および「子どもを預かるサービスの時間の延長」が上位回答となっていますが、女性は「子どもを預かるサービスの時間の延長」の割合が多くなっています。

(%)

		n	保育所など 保育施設の拡充	子どもを預かる サービスの時間の 延長	子どもを預かる施 設の教育・保育の 質の向上	子育てに関する施 設・サービス・イベ ントなどの情報提供 の充実	各種助成をはじめ とする金銭的なサ ポートや現物給付
全体		292	43.2	38.0	34.2	9.9	37.7
性別	男性	126	45.2	34.9	31.0	8.7	35.7
	女性	165	41.8	40.0	37.0	10.3	39.4

		n	子育てに係る 母子の保健・ 医療体制の充実	子育てに関する 様々な講座、 イベント、講演会 の開催	子育てについて 相談できる 機関やサービス の充実	子育てサロン・サ ークルなど地域 における交流の 場の充実	行政が行うサー ビスをこれ以上増 やす必要はない
全体		292	22.3	4.8	12.0	11.6	3.8
性別	男性	126	19.8	4.8	11.9	7.1	4.8
	女性	165	23.6	4.8	12.1	15.2	3.0

		n	その他	無回答
全体		292	6.8	6.8
性別	男性	126	4.8	7.9
	女性	165	8.5	6.1

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

《年齢階級別の集計》

○年齢階級別にみると、「保育所など保育施設の拡充」「子どもを預かるサービスの時間の延長」および「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が上位回答となっています。

○25～39歳は「保育所など保育施設の拡充」の割合が多くなっており、その中でも30～34歳は「子どもを預かるサービスの時間の延長」も多くなっています。

○25～29歳は「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」が他年齢階級と比べて多くなっています。

(%)

		n	保育所など 保育施設の拡充	子どもを預かる サービスの時間の 延長	子どもを預かる施 設の教育・保育の 質の向上	子育てに関する施 設・サービス・イベ ントなどの情報提供 の充実	各種助成をはじめ とする金銭的なサ ポートや現物給付
全体		292	43.2	38.0	34.2	9.9	37.7
年齢	19歳以下	26	38.5	38.5	26.9	19.2	26.9
	20～24歳	21	33.3	4.8	14.3	19.0	23.8
	25～29歳	37	51.4	35.1	35.1	8.1	51.4
	30～34歳	42	47.6	45.2	35.7	11.9	40.5
	35～39歳	41	56.1	39.0	48.8	0.0	39.0
	40～44歳	66	40.9	45.5	34.8	7.6	39.4
	45～49歳	59	33.9	37.3	32.2	11.9	33.9

		n	子育てに係る 母子の保健・ 医療体制の充実	子育てに関する 様々な講座、 イベント、講演会 の開催	子育てについて 相談できる 機関やサービス の充実	子育てサロン・サ ークルなど地域 における交流の 場の充実	行政が行うサー ビスをこれ以上増 やす必要はない
全体		292	22.3	4.8	12.0	11.6	3.8
年齢	19歳以下	26	23.1	3.8	15.4	7.7	3.8
	20～24歳	21	19.0	9.5	19.0	19.0	4.8
	25～29歳	37	32.4	8.1	21.6	18.9	2.7
	30～34歳	42	28.6	11.9	9.5	19.0	0.0
	35～39歳	41	19.5	4.9	9.8	4.9	0.0
	40～44歳	66	21.2	1.5	7.6	10.6	6.1
	45～49歳	59	15.3	0.0	10.2	6.8	6.8

		n	その他	無回答
全体		292	6.8	6.8
年齢	19歳以下	26	0.0	11.5
	20～24歳	21	14.3	4.8
	25～29歳	37	2.7	10.8
	30～34歳	42	7.1	4.8
	35～39歳	41	4.9	2.4
	40～44歳	66	9.1	7.6
	45～49歳	59	8.5	6.8

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目

《子育てしやすさ別の集計》

○子育てしやすさ別にみると、子育てしやすい環境だと思うと回答した人は「各種助成をはじめとする金銭的なサポートや現物給付」の割合が多くなっています。

○子育てしにくい環境だと思うと回答した人は「保育所など保育施設の拡充」が75%と非常に多くなっています。

		n	保育所など 保育施設の拡充	子どもを預かる サービスの時間の 延長	子どもを預かる施 設の教育・保育の 質の向上	子育てに関する施 設・サービス・イベ ントなどの情報提供 の充実	各種助成をはじめ とする金銭的なサ ポートや現物給付
全体		292	43.2	38.0	34.2	9.9	37.7
子育て しやすさ	しやすい環境だ と思う	97	40.2	40.2	27.8	10.3	44.3
	どちらかといえば しやすい環境だ と思う	135	44.4	37.0	35.6	9.6	38.5
	どちらかといえば しにくい環境だ と思う	35	48.6	42.9	51.4	14.3	31.4
	しにくい環境だ と思う	12	75.0	58.3	58.3	8.3	33.3

(%)

		n	子育てに係る 母子の保健・ 医療体制の充実	子育てに関する 様々な講座、 イベント、講演会 の開催	子育てについて 相談できる 機関やサービス の充実	子育てサロン・サ ークルなど地域 における交流の 場の充実	行政が行うサー ビスをこれ以上増 やす必要はない
全体		292	22.3	4.8	12.0	11.6	3.8
子育て しやすさ	しやすい環境だ と思う	97	19.6	3.1	12.4	11.3	6.2
	どちらかといえば しやすい環境だ と思う	135	24.4	6.7	14.1	13.3	3.0
	どちらかといえば しにくい環境だ と思う	35	31.4	2.9	11.4	14.3	2.9
	しにくい環境だ と思う	12	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0

		n	その他	無回答
全体		292	6.8	6.8
子育て しやすさ	しやすい環境だ と思う	97	4.1	4.1
	どちらかといえば しやすい環境だ と思う	135	4.4	3.0
	どちらかといえば しにくい環境だ と思う	35	11.4	0.0
	しにくい環境だ と思う	12	41.7	0.0

※網掛け部は各分類の中で回答者が一番多い項目